



ホコリも積もれば事故となる ～年末は配線器具の掃除・チェックもお忘れなく～

1. 事故の発生状況

2019年度から2023年度の5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県で配線器具による事故は合計18件^{※2}ありました。

(1) 県別および年度別事故発生件数（表1）

表1 配線器具の県別および年度別事故発生件数（2019～2023年度）（単位：件）

事故発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2019年度									0
（内数）火災									(0)
2020年度	2	1	1	1	1				6
（内数）火災	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)				(5)
2021年度	2			3			1		6
（内数）火災	(2)			(3)			(1)		(6)
2022年度		2					1		3
（内数）火災		(2)					(0)		(2)
2023年度	2			1					3
（内数）火災	(2)			(1)					(3)
合計	6	3	1	5	1	0	2	0	18
（内数）火災	(5)	(3)	(1)	(5)	(1)	(0)	(1)	(0)	(16)

※1: 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※2: 重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 配線器具の県別および被害状況別事故発生件数（2019～2023年度）^{※3}（単位：件）

被害状況	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡								0
	重傷								0
	軽傷								0
物的被害	拡大被害	5	2	1	3		2		13
	製品破損	1	1		2	1			5
被害なし・不明									0
合計	6	3	1	5	1	0	2	0	18
合計（火災事故）	(5)	(3)	(1)	(5)	(1)	(0)	(1)	(0)	(16)

※3: 表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としてしています。

2. 事故事例

(1) 延長コード：2020年12月（大分県、80歳以上、性別不明、製品破損）

【事故の内容】

当該製品をコンセントに接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、電源プラグ内のコード芯線カシメ部近傍の絶縁被覆端部の芯線が断線し、異常発熱し、出火に至ったものと推定されるが、カシメ部付近が焼失しており、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

(2) 延長コード：2021年7月（福岡県、80歳以上、男性、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品に電気製品を接続していたところ、当該製品の電源プラグを焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。

【事故の原因】

詳細な使用状況が不明であるため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品の電源プラグ部に強い外力が加わったため、栓刃可動部に緩みが生じ、接触不良により異常発熱したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 担当者 清水
電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329